

(6) 研修方法

① 講義

- ア 婦人教育指導者としての心構えと活動のあり方
- イ 生涯教育構想に立つ婦人教育について
- ウ 婦人の自立と問題
- エ 魅力ある婦人団体活動のあり方
- オ 楽しい地域活動にするためには
- カ 婦人学級・地域婦人団体の年間学習・活動計画立案の手順
- キ 婦人の地域活動と広報の仕方

② コース別学習

- ア 婦人学級の運営と学習内容のあり方
- イ 婦人団体の組織・運営と活動のあり方
- ウ 婦人教育の課題と指導助言のあり方

③ 研究協議

- ア 地域における婦人教育活動の現状と課題
- イ 婦人のボランティア活動のあり方

④ 演習及び実技研修

- ア 会議の進め方
- イ 楽しいつどいの持ち方とレクリエーションのあり方

⑤ 実践発表と情報交換

- ア 婦人教育指導者研修会修了生の活動事例
- イ 地域における婦人教育活動の現状と課題
- ウ ブロック研修の報告

⑥ ホームワーク

- ア 婦人の学習要求と婦人問題の調査

9 県婦人教育指導員の設置

(1) 趣旨

婦人教育の重要性にかんがみ、各教育事務所に婦人教育指導員を置き、市町村における婦人教育の指導並びに婦人団体の健全育成の指導助言にあたり、婦人教育の振興に資する。

(2) 昭和57年度県婦人教育指導員名簿

管内	氏名	住 所
県北	遠藤 よね子	福島市飯坂町字馬場9-3
"	大森 瑛子	伊達郡保原町泉町50の2
"	安田 チエ子	二本松市松岡11-1
県中	安田 千鶴子	郡山市台新1丁目11-26
"	斎藤 政子	岩瀬郡鏡石町大字鏡田字不時沼97-163
"	務川 裕子	石川郡石川町字新町24
"	佐藤 京子	田村郡滝根町大字菅谷字深和田20
県南	村越 信子	白河市字寺小路42
"	武藤 麗子	東白川郡棚倉町字寺山字豊岡93
会津	石田 サグ子	会津若松市山見町279
"	清水 美代子	喜多方市字永久7695の2
"	松谷 恭子	河沼郡柳津町大字柳津字諏訪町甲105
南会津	星 スミ子	南会津郡下郷町大字豊成字林中6092
相双	牧野 芳子	原町市上町3の19
"	木幡 キサ	双葉郡大懸町大字野上字山神56
いわき	高橋 昌江	いわき市平中平窪字細田15

10 婦人教育関連事業

(1) 第20回・北海道・東北ブロック地域婦人団体研究大会

- ① 主催 福島県婦人団体連合会
地域婦人団体北海道・東北ブロック連絡協議会

全国地域婦人団体連絡協議会

② 趣 旨

80年代のきびしい社会情勢に対応するため、地域の諸問題等について研究協議し、婦人の主体性の確立と地域婦人団体活動の推進を図る。

③ 期 日 昭和57年9月8日～9日

④ 会 場 福島県婦人会館・福島県文化センター

⑤ 参加者 北海道・東北各県地域婦人会員代表約100名
福島県婦人団体連合会員約1,500名

⑥ 内 容

ア 第1日

(ア) 主 題

組織の中で、くらしの問題をどのようにとらえていくか新たな展開を考える。

(イ) 講 演 これからの暮らしを考える

福島県県民生活課長 中 嶋 千 年

(ウ) 問題提起

㊦ 消費問題について 秋田県

㊧ 働く婦人の問題について 札幌市

㊨ くらしと習慣の見直しについて 山形県

㊩ 家計と貯蓄について 福島県

イ 第2日

(ア) 主 題

80年代の地域社会—地域婦人団体は何をなすべきか

(イ) 問題提起

㊦ 健康を守る活動について 宮城県

㊧ 婦人団体活動の中における学習活動について 北海道

㊨ 青少年の健全育成について 岩手県

㊩ 向老期への対応について 青森県

(ウ) 公開座談会

講 師

福島民報社常務取締役編集主幹 河 田 亨

福島県青少年婦人課主幹兼課長補佐

加 賀 美代子

全国地域婦人団体連絡協議会会長 大 友 よ ぶ

(2) 昭和57年度婦人研修のつどい(県婦人会館事業)

① 趣 旨

有権者の過半数を占めている婦人が、政治に対する認識を深めて、一層主体的に参与することが重要である今日、政治と日常生活とのつながりや、正しい選挙のあり方等の学習により、政治意識の高揚を図る。

② 期 日 昭和57年11月24日～25日 1泊2日

③ 会 場 (財)福島県婦人会館

④ 参加者 50歳未満の婦人会員 50名